



第**54**期

HEART

2025年4月1日から2026年3月31日まで

こころを動かすスポーツ。

私たちゼビオグループはスポーツの魅力と可能性を最大限に引き出し、伝え、表現し、発信し、それらをビジネスとしての価値に変えていきます。そしてスポーツ業界のビジネスモデルを変革し、スポーツのビジネスとしての価値を最大化していきます。その結果、スポーツの持続的発展に寄与し、地域社会への貢献、そして、身近にスポーツがある健康的で充実した豊かな人生の実現をお手伝いします。

ゼビオグループの宣言

- 私たちはスポーツの感動価値を最大化します。
- 私たちはスポーツ業界のビジネスモデルを変革・創造していきます。
- 私たちはスポーツによって世の中を明るく元気にしていきます。

スポーツの感動価値

ビジネスモデルの変革・創造

スポーツによって世の中を明るく元気にする

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

2026年3月期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移した一方、物価上昇の継続や金融資本市場の変動、地政学的リスク等により、先行き不透明な状況が続きました。

スポーツ用品販売業界におきましても、健康志向の高まりやスポーツ参加機会の回復を背景とした需要がみられる一方、消費者の選別消費の強まりやECシフトの進行、競争環境の激化等、事業環境は大きく変化しております。

こうした中、当社グループは「こころを動かすスポーツ。」「スポーツの国をつくろう。」の実現に向け、前期より経営構造改革を推進してまいりました。当期は、収益性改善や資本効率向上、事業ポートフォリオ見直しを重要課題と位置づけ、グループ全体の経営基盤強化に取り組んでまいりました。また、組織・ガバナンス体制の見直しを進め、各事業の自律性向上とグループ全体の経営管理機能強化を図ることで、意思決定の質とスピード向上にも取り組んでおります。加えて、デジタル技術の活用やグループ横断での連携強化を進めることで、経営効率の向上と持続的な競争力強化を図ってまいります。

2027年3月期は、これまで進めてきた経営構造改革を次の成長につなげる重要な一年と位置づけ、事業インフラ統合や業務標準化、デジタル活用等を通じて、より強固な経営基盤の確立を目指してまいります。

今後も当社グループは、「お客様第一主義」の理念のもと、スポーツを通じて社会と人々の心を動かす企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 諸橋 友良

業績について

当連結会計年度は、国内小売事業において、シューズ、ウェルネス関連商品およびEC販売が堅調に推移した一方、暖冬による冬物商品の不振やアパレル部門の伸び悩みがみられました。利益面では、経年品在庫の短期圧縮に伴う売価訴求や低価法評価損の増加により売上総利益率が低下したほか、ECシステム費用、人件費・店舗費の上昇、海外ゴルフ事業における商品評価損の増加等により、営業利益は当初想定を下回りました。

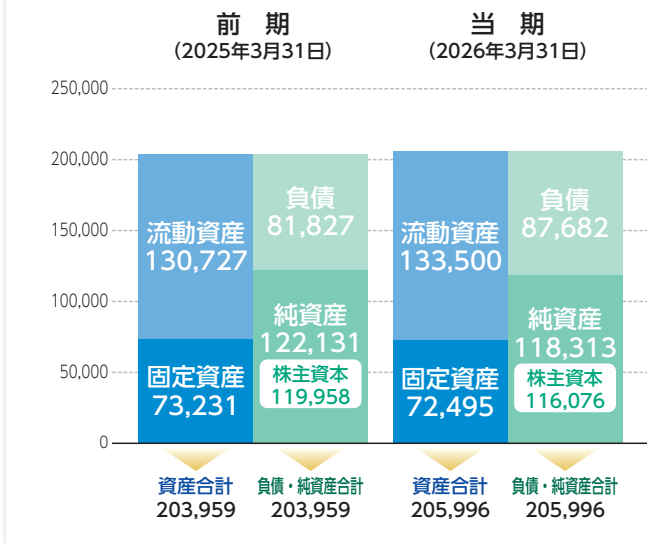
また、経営構造改革の一環として不採算事業・低効率資産の見直し、投資案件の評価厳格化および資産整理等を進めた結果、減損損失や投資有価証券評価損、固定資産処分損等を計上し、特別損失は73億72百万円となりました。

店舗展開につきましては、130店舗を出店、45店舗を閉店し、グループ総店舗数は972店舗となりました。以上の結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高2,523億31百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益23億70百万円（前年同期比66.2%減）、経常利益46億60百万円（前年同期比38.8%減）、親会社株主に帰属する当期純損失21億64百万円となりました。

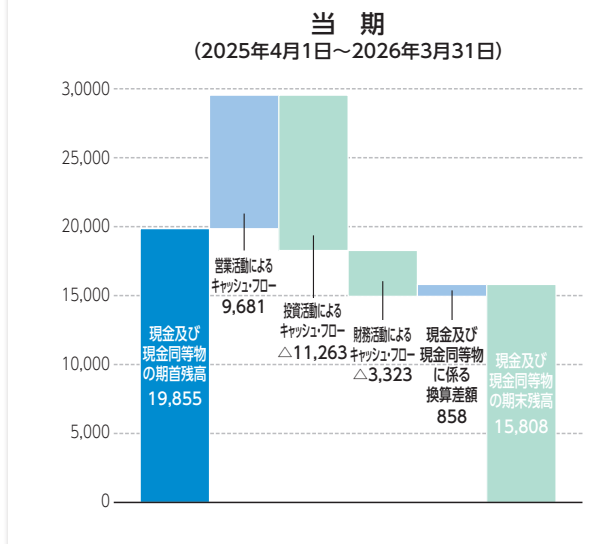
次期につきましては、2027年3月期を新たなガバナンス体制の起点および経営構造改革の締めくくりの年と位置づけ、国内スポーツ小売事業における販売力強化・ビジネスモデル転換、業務標準化・インフラ統合、海外事業の基盤強化、関連・新規事業の収益性向上、バックオフィス統合・デジタル活用、経営管理体制の再構築を進めます。これにより、売上総利益率の改善、固定費の見直し、在庫効率向上、営業キャッシュ・フロー創出力強化および資本効率の改善を図ってまいります。

以上により、2027年3月期の通期連結業績予想は、売上高2,646億円（前年同期比4.9%増）、営業利益70億円（同195.2%増）、経常利益71億円（同52.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益75億円を見込んでおります。

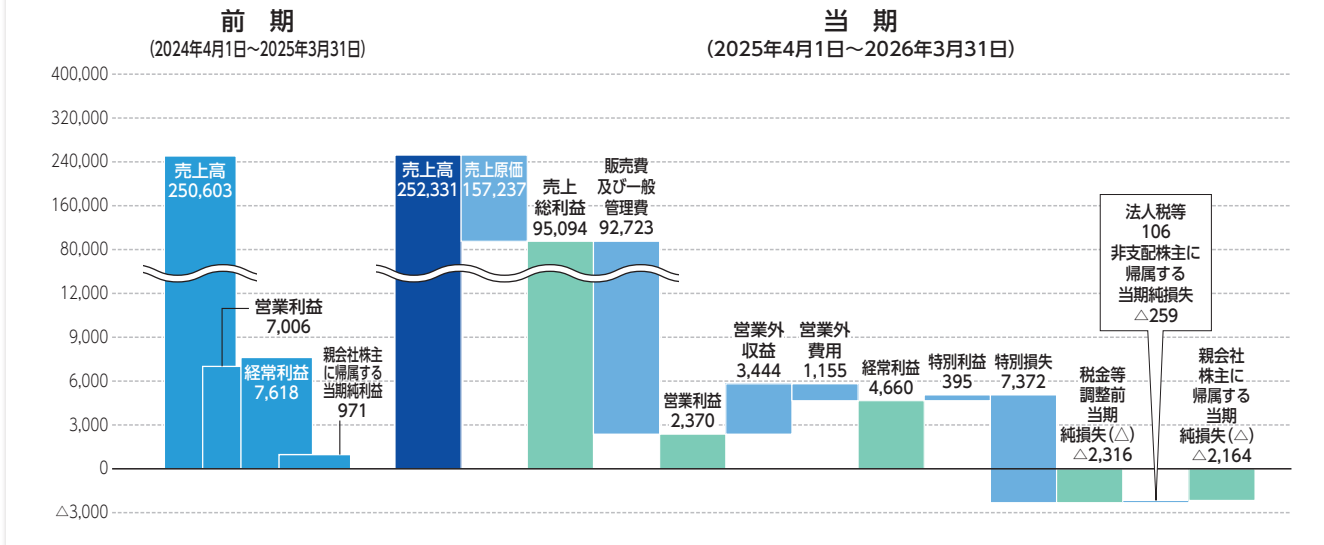
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



X 当期の新規出店と改装状況

海外を含め130店舗を新規出店する一方、45店舗を閉店しました。

既存店舗に対して、引き続き「売場導線の最適化による利便性向上」や「専門性強化を目的としたカテゴリーの再編」等の改装を実施しております。カジュアル業態「X'tyle」は、2025年度に既存店舗内での展開を含めた業態拡大を本格化したことに伴い、店舗数が増加しております。

● 主な新規出店

2025年10月17日 開店（移転増床）
ヴィクトリアゴルフ
高松南店（香川県）



2025年10月31日 開店
スーパースポーツゼビオ
ららぽーとTOKYO-BAY店（千葉県）

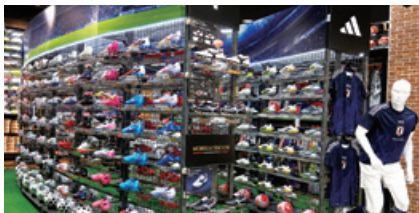


2025年11月28日 開店
スーパースポーツゼビオ
姫路広畑店（兵庫県）



● 改装店舗

2025年9月5日 リニューアルオープン
スーパースポーツゼビオ
ららぽーと豊洲店（東京都）



2025年10月10日 リニューアルオープン
スーパースポーツゼビオ
東京御茶ノ水本店（東京都）



鈴木健吾選手と一山麻緒選手を招いた
オープニングトークイベント



2025年12月19日 移転・リニューアルオープン
スーパースポーツゼビオ
LINKS UMEDA店（大阪府）



2026年3月6日 リニューアルオープン
スーパースポーツヴィクトリア・L-Breath
ららぽーと海老名店（神奈川県）



X 事業トピックス

スポーツポイントカードに「ゴルフパートナーデザイン」を追加

当社グループが展開する「スポーツポイントカード」において、新たに「ゴルフパートナーデザイン」をリリースいたしました。ゴルフ専門店「ゴルフパートナー」のコーポレートカラーを反映した本デザインは、ゴルフを愛好するお客様を中心に、より魅力的なカードラインナップの拡充を図るものです。

スポーツポイントカードは、ゼビオグループ各店舗およびオンラインショップで利用可能なクレジット機能付きポイントカードで、ポイント還元や1ポイント=1円での利用等、日常の買い物をお得にするサービスを提供しています。さらに、タッチ決済やモバイル決済にも対応し、利便性の高い決済体験を実現しています。

今回の新デザイン追加を通じて、スポーツカテゴリーごとの顧客ニーズに対応したサービス展開を強化し、顧客満足度の向上と継続的な利用促進を図ってまいります。



X サステナビリティに関する取り組み

地域連携によるランニングイベント「ながまちパークラン」の展開

当社グループは、仙台市「あすと長町」エリアにおいて、地域の健康増進とにぎわい創出を目的としたランニングイベント「ながまちパークラン」を開始しました。

本取り組みは、ゼビオアリーナ仙台と周辺地域に加え、スーパースポーツゼビオ店舗とも連携し、エリア一体でスポーツ機会を創出する点に特徴があります。夜間開催や初心者向けプログラムにより参加しやすい環境を整え、継続的な来訪と交流の促進につなげています。

今後も地域の方々へのランニング環境・機会の提供を通じ、地域密着型のサービス強化と持続的な価値創出を推進してまいります。



ゴルフ練習場備品のリユースを通じた「リユースゴルフプロジェクト」の推進

株式会社ゴルフパートナーは、お客様に快適な練習環境を提供するため、練習場で定期的に入れ替えている備品を廃棄することなく再活用する仕組みを構築し、環境に配慮した「リユースゴルフプロジェクト」を推進しています。

本プロジェクトでは、全国の練習場で使用されたゴルフレンジボールや練習用マット、ゴルフネット等の施設備品を対象に、状態に応じて再整備・再利用・再販売を行うことで、資源の有効活用と廃棄物の削減に取り組んでいます。

今後もゼビオグループは、全国のネットワークを活かし、リユース対象品目の拡大や再資源化の仕組みの強化を進め、ゴルフを通じた持続可能な社会の実現を目指していきます。

本取り組みの詳細は、下記URLまたは二次元コードよりご覧いただけます。

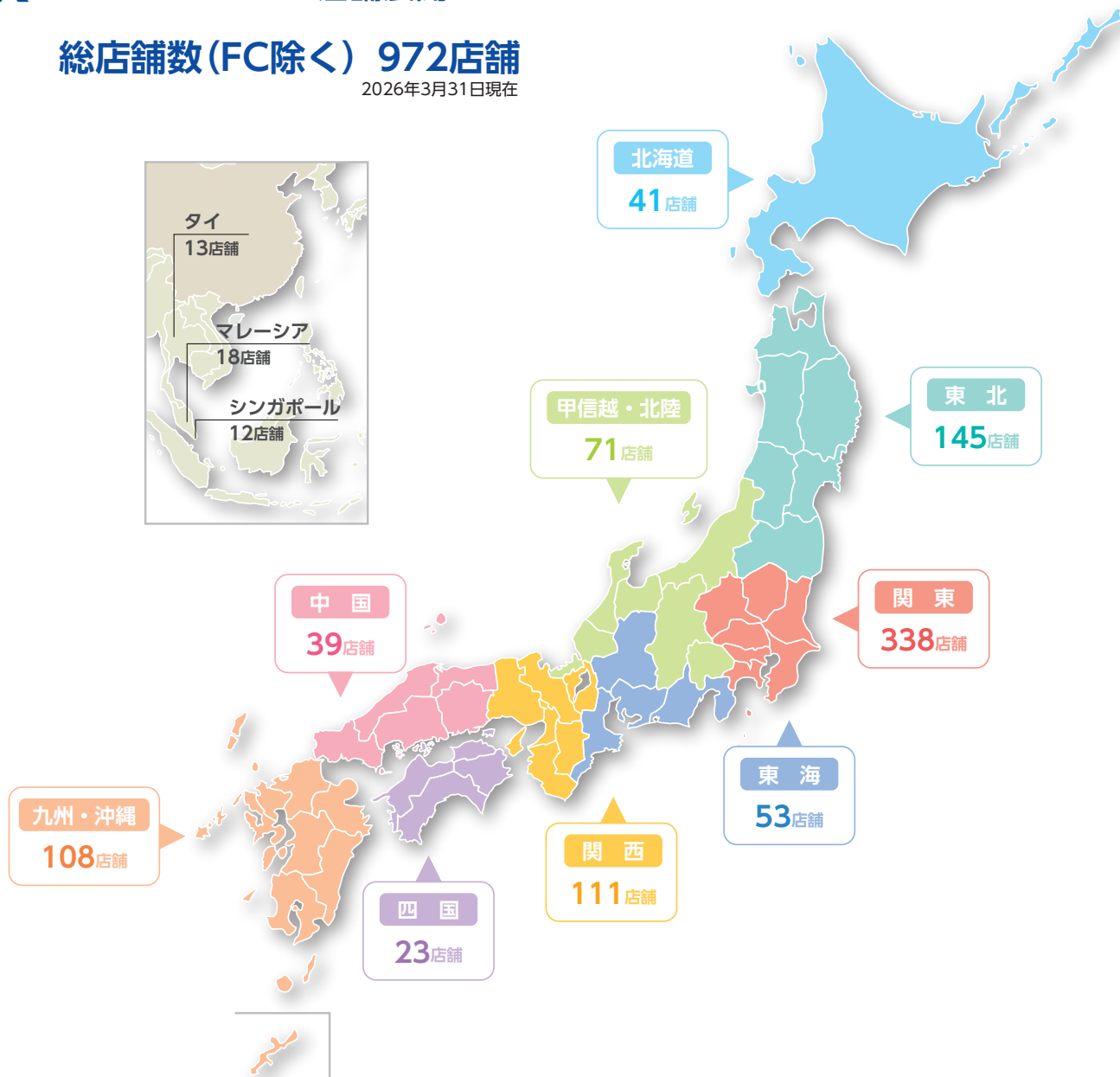
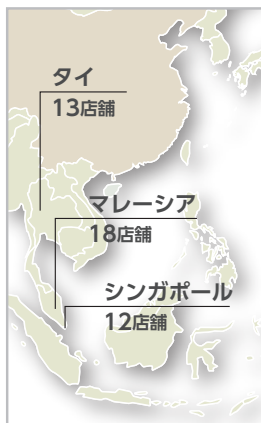
<https://www.golfpartner.co.jp/sustainability/>



ゼビオグループの店舗展開

総店舗数(FC除く) 972店舗

2026年3月31日現在



X 株式会社状況 (2026年3月31日現在)

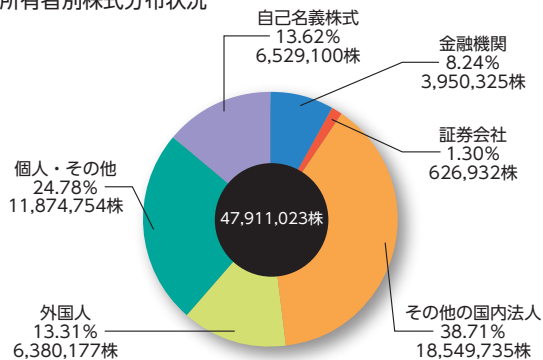
看板	特徴	店舗数
	あらゆるスポーツ用品・用具を取り揃えた大型総合スポーツ専門店	175
	地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	
	北東北で地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	25
	都市型オールスポーツショップ	19
	幅広い方に対応できる商品ラインアップとサービスのゴルフ専門店	154
	ファッション感覚にあふれたアウトドア専門店	99
	中古・新品を問わず、あらゆるクラブニーズに応える総合ゴルフショップ	197
	中古ゴルフ業界のパイオニア、豊富な在庫と安心価格	4
	選び抜かれたゴルフ用品を取り扱うセレクトショップ	5
	豊富な商品ラインと体験型サービスを融合した、PGAツアー公認のゴルフ専門店	13
	東南アジアにおけるゴルフ用品専門店	43
	カジュアルスポーツウェアショップ	159
	度付レンズ対応可能なスポーツサングラスを扱うスポーツメガネ専門店	29
	アスリートのコンディショニングをサポートするスポーツドラッグストア	13
その他	雑貨・服飾雑貨・文具等の販売店、野球専門店、競技スポーツ専門店、ストリート・セレクトショップ	37

- (1) 発行可能株式総数 135,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 47,911,023株
- (3) 株主数 53,379名
- (4) 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
有限会社サンビック	8,252,605株	19.9%
公益財団法人諸橋近代美術館	4,500,000株	10.8%
有限会社ティー・ティー・シー	4,121,466株	9.9%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,634,000株	6.3%
諸橋輝子	1,392,364株	3.3%
諸橋友良	1,174,150株	2.8%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,101,482株	2.6%
RHB合同会社	900,897株	2.1%
四家千佳史	500,000株	1.2%
ゼビオグループ従業員持株会	452,392株	1.0%

(注) 1. 当社は、自己株式6,529,100株を保有しており、上記の大株主から除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。

所有者別株式分布状況



今後もコンテンツの充実や利便性の向上を図ってまいります。ぜひご覧ください。



<https://www.xebio.co.jp/>

商号	ゼビオホールディングス株式会社 (XEBIO Holdings CO.,LTD.)		
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7-35 ☎024-938-1111 (代表)		
東京オフィス	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階		
創業	1962年12月		
会社設立	1973年7月5日		
グループ従業員数	2,446名		
取締役及び監査役	代表取締役	諸橋	友良
	取締役	北澤	猛
	取締役	藤澤	剛
	社外取締役	岩本	保
	社外取締役	住田	智子
	社外取締役	篠原	倫太郎
	常勤監査役	干川	勇一
	社外監査役	小谷野	幹雄
	社外監査役	向谷地	正一
執行役員	副社長執行役員	中村	考昭
	副社長執行役員	近野	泰
	執行役員	石田	純哉
	執行役員	中村	裕哉
	執行役員	村井	宏行
	執行役員	中村	和彦

株主様御優待

当社では、株主の皆様への感謝の気持ちを込め、毎年9月30日及び3月31日現在で100株以上を保有されている株主様を対象に、「株主特別御優待券」を進呈しております。本「株主特別御優待券」は、当社各店舗にてご利用いただいた場合、お買い上げ金額の10%または20%を割引させていただくものです。「株主特別御優待券」は、ゼビオグループ各店舗（一部店舗を除く）にてご利用いただけます。詳細は優待券の裏面をご確認ください。



100株以上保有する株主様 20%割引券 1枚
10%割引券 4枚

1,000株以上保有する株主様 20%割引券 2枚
10%割引券 8枚

※掲載の「株主特別御優待券」はサンプルとなります。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月末日 中間配当金 毎年9月末日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 (https://www.xebio.co.jp/) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先(連絡先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未支払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●「配当金計算書」について

配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。

配当の状況

	1株あたりの配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2025年3月期	15円00銭	17円50銭	32円50銭
2026年3月期	17円50銭	17円50銭	35円00銭
2027年3月期(予想)	17円50銭	17円50銭	35円00銭